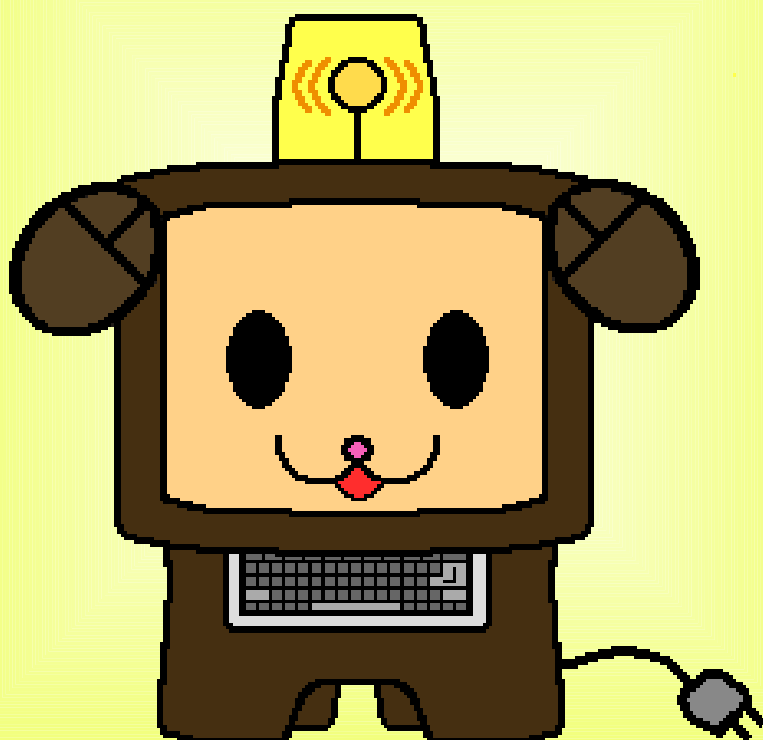


無人の家に犬の気配？

防犯支援ソフト

『パノわんこ』

取扱説明書



も く じ

1. はじめに	4
2. インストールと起動方法	5
3. 各種設定方法	7
4. 動態監視ソフトとの連携	13
5. ウイルス対策製品への設定	17

1. はじめに

『パソわんこ』は無人の家で使っていないパソコンから犬の鳴き声をランダムに再生して、外部に犬を飼っていると思わせるようなソフトです。

留守中のインターネット回線とパソコンを使って防犯支援を行います。

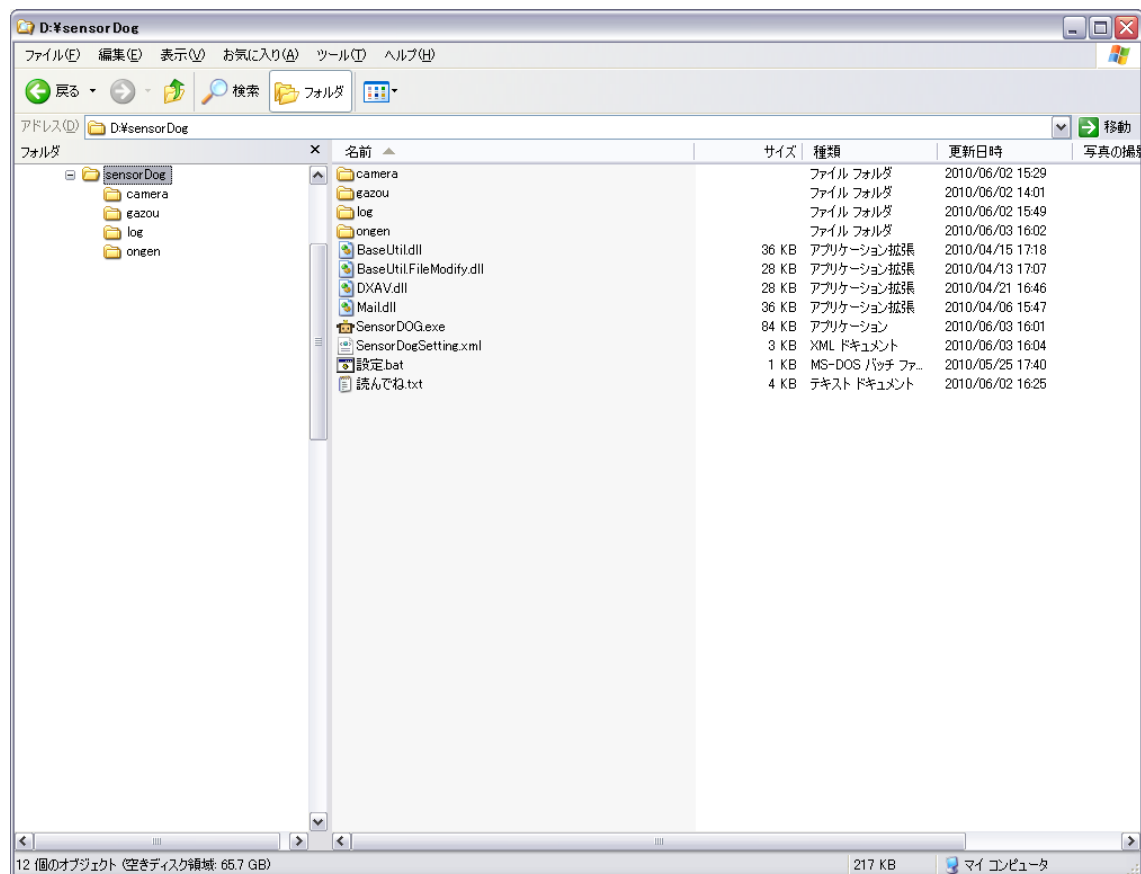
チャットなどで使用されるWEBカメラを使用して動態監視ソフトと連携して外部にメール通報する事や警告音、警告画像を表示すると事が可能です。

『パソわんこ』は**フリーソフト**です。

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標です。
- マニュアルの一部または全部を許可無く複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- マニュアルの内容は予告無く変更する事があります。

2. インストールと起動方法

ダウンロードした pasowanko.zip のファイルを適当な場所にフォルダを作成して解凍してください。



上記のようなフォルダとファイルが解凍されます。

一番最初に使う場合は、
「設定. bat」を実行して環境設定を行ってください。

※画面はDドライブに解凍した場合の画面です。

【フォルダ・ファイル説明】



『camera』

動態監視を行う場合はこのフォルダに画像を保存します

『gazou』

実行中の画面や警告画面で使用する画像が保存されています

『log』

ログを記録する設定にした場合、ここにログが保存されます

『ongen』

犬の鳴き声や警告時に使用する音源ファイルが保存されています

「SensorDog.exe」

実行プログラム、パソわんこを実行します

「各種DLL」

パソわんこの外部プログラム

「SensorDogSetting.xml」

環境設定の保存ファイル

「設定.bat」

環境設定のを行う場合に実行します

「読んでね.txt」

概要説明ファイル

3. 各種設定方法

「設定.bat」を実行して環境設定を行います。
下記の画面が表示されます。

パソわんこ 設定

送信元アドレス

送信先アドレス1

送信先アドレス2

件名

メールの内容

送信サーバ(SMTP)設定

監視フォルダ

監視間隔

警告画像

警告音声

警告時間

実行中の画像

犬の鳴き声

繰り返しの早さ

☒ 動作記録を全て残す

OK キャンセル

ay.system

パソわんこについて

- ①送信元アドレス
監視を行うパソコンのメールアドレスを入力してください
- ②送信先アドレス
異常を検知した場合に通報を行うメールアドレスを
2つまで登録できます
- ③件名
ここに入力した文字列が異常通報メールのタイトルになります
- ④メールの内容
ここに入力した内容が異常通報メールの本文となります
- ⑤送信サーバ(SMTP)設定
次ページで説明します
- ⑥監視フォルダ
動態監視を行う場合の画像保存フォルダを指定します
別に用意する動態検知ソフトが動態検知した場合に
画像出力されるフォルダをここで指定してください
- ⑦監視間隔
フォルダを監視する間隔を指定します
あまり短すぎると負荷が増大しますのでご注意下さい
- ⑧警告画像
異常を検知した場合に表示する画像を指定します
- ⑨警告音声
異常を検知した場合に再生する音源を指定します
- ⑩警告時間
警告を行う時間を指定します
指定されている警告時間が来るまで警告画像と警告音を
鳴らし続けます
- ⑪実行中の画像
通常監視の場合に表示する画像を指定します
- ⑫犬の鳴き声
監視時に再生される元気良くなく犬の鳴き声を指定します
- ⑬繰り返しの早さ
ここで指定された時間でランダムに鳴き声を再生します
時間幅を長くすると鳴き声の間隔が長くなります
- ⑭動作記録を全て残す
ログファイルを記録します

【送信サーバ(SMTP)設定】



SMTPサーバ設定ダイアログボックスのスクリーンショット。タイトルバーには「SMTPサーバ設定」とあり、右上には閉じるボタン（X）があります。設定項目は以下の通りです：

- SMTPサーバ: 入力欄に「smtp.example.com」が入力されています。
- SMTPポート: 入力欄に「25」が入力されています。
- タイムアウト: 入力欄に「100000」が入力されています。
- ☐ SSL通信を使用する
- ☐ SMTP認証を使用する
- ユーザ名: 入力欄が空です。
- パスワード: 入力欄が空です。
- 右下には「OK」ボタンがあります。

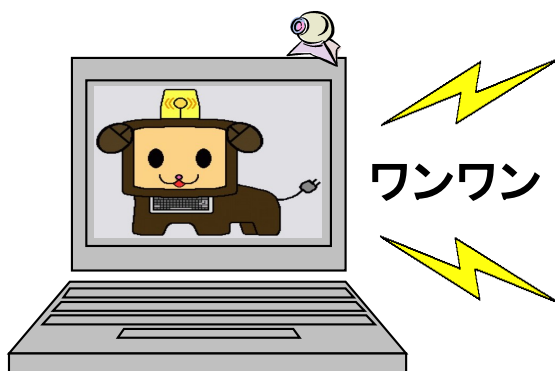
⑤送信サーバ(SMTP)設定をクリックすると上記の画面が表示されます。

外部にメール送信をする為に、ここでメールサーバーの設定を行ってください。

メールソフトなどを参考にして必要事項を入力してください。

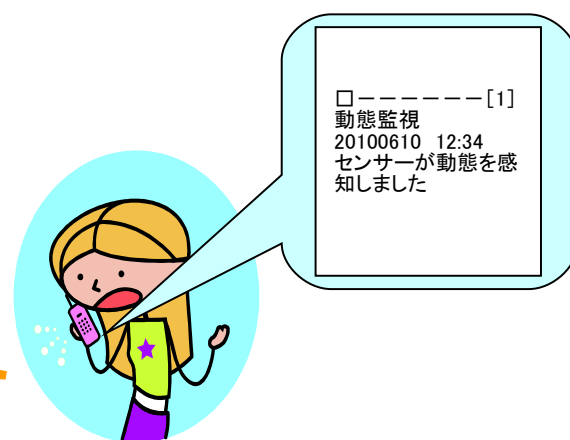
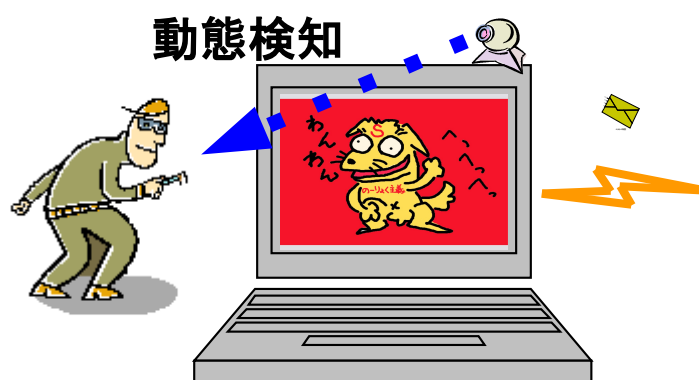
【実行中の動作】

『パソわんこ』を実行すると通常はこの画面になります



機能その1

何もない時は設定されている音声をランダムに再生します



機能その2

異常を検知した場合、動態検知ソフトと連携して外部にメール通報します



機能その3

警告音と警告画面を表示します

※重要

警告音を手動で停める場合は、**CTRLキー**を押してください
パソわんこ以外のソフトがアクティブになっている場合は
右クリックしながらCTRLキーを押してください！

【パソわんこ 実行中の注意】

- ①スクリーンセーバーは解除してください
- ②パワーマネジメント機能は停止してください
- ③外部にメール通報する場合、パーソナルファイヤーウォールやウイルス対策ソフトなどに通信の許可設定をしてください
- ④本当に空き巣が入った場合、警告音を鳴らしているパソコンが破壊される可能性もあります
心配な方は動産保険や家財保険への加入をお勧めします
- ⑤「パソわんこ」の実行にはランタイムが必要です
Microsoft .NET FrameWork 2.0以降のランタイム
配布サイト
<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se446116.html>

DirectX 8.1以降
配布サイト
<http://www.microsoft.com/japan/directx/default.mspx>
DirectX End-User Runtime というのをインストールしてください

【パソわんこ 実行中のエラーについて】



一部のパソコンで「パソわんこ」を実行中に上記のようなエラーが確認されております。

その場合は下記の事についてご確認ください。

- ①環境設定を行っていなかったり、指定フォルダが存在していない可能性がありますので、環境設定を再度行ってください。
- ②ライントイムが古い可能性があります。
Microsoft .NET Framework のランタイムを確認して古い場合は新しい物をインストールしてください。
- ③DirectXが古い可能性があります。
指定サイトに行ってOSにあった最新のバージョンを入れてください。
- ④USB接続のデジタルスピーカーを使っている
USB接続のスピーカーを外してパソコンを再起動して「パソわんこ」を使ってください。

4. 動態監視ソフトとの連携

「パソわんこ」は動態監視ソフトと連携して警告音や警告画面を出して外部に通報する機能を持っています。

動態監視機能と使うには、他に必要な物があります。

必要な物

①動態監視ソフト

②PCに接続するカメラ

ただし、カメラ内蔵PCの場合は別に用意する必要はありません。

動態監視ソフトは有料の物もありますが、世の中には無料で動態監視可能な優秀なソフトウェアもたくさん存在します。

それらを用意して連携させると安価に動態監視が行えます。

無料の動態監視ソフトは下記サイトにてたくさん配布されております。

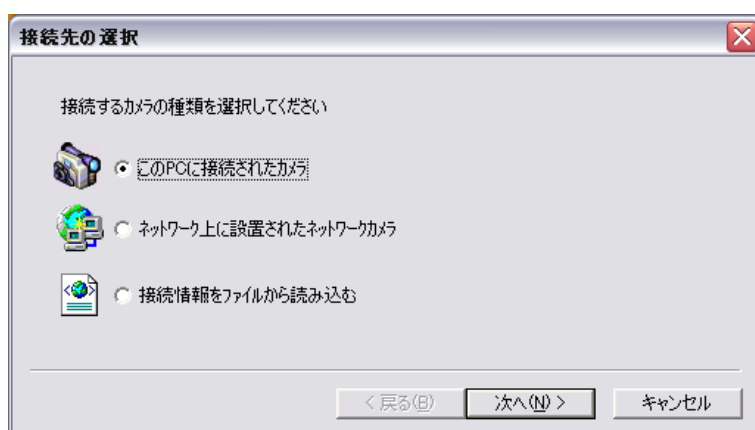
<http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win/hardware/scan/>

当方がお勧めするのは市川由紀夫氏作成の「LiveCapture2」というソフトウェアです。

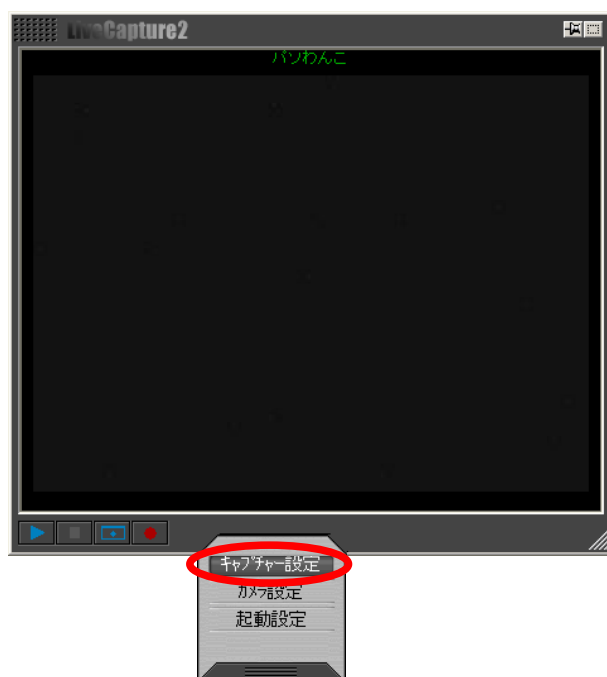
<http://www2.wisnet.ne.jp/~daddy/>

【ライブカメラシステム LiveCapture2の準備】

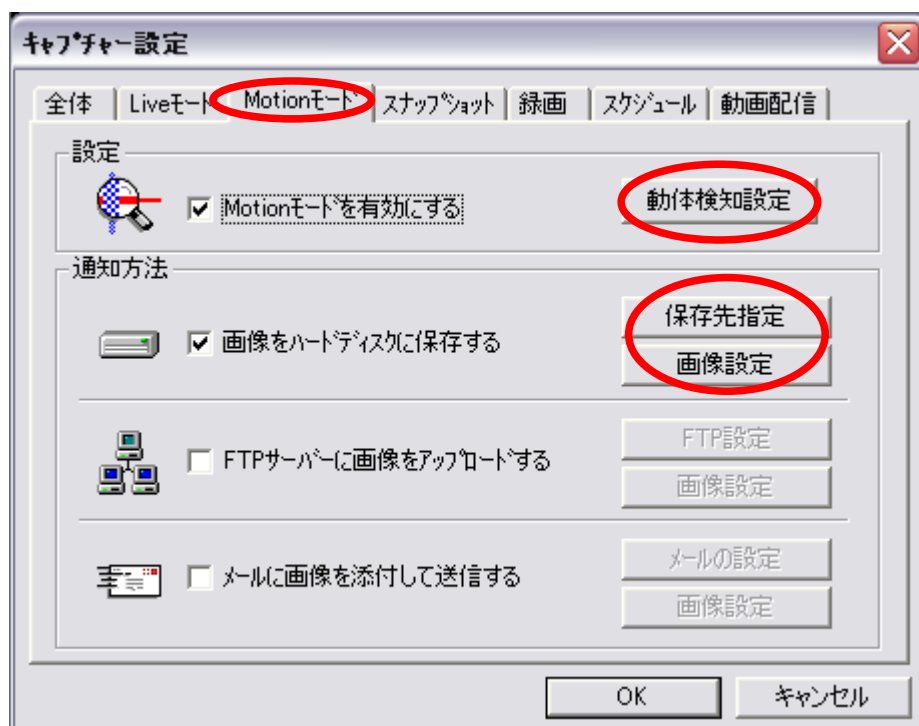
1. インストールは LiveCapture2 のドキュメントに従って行ってください。
2. インストールが行えたら、丸いUSBカメラのようなアイコンが出来ます。
3. 次にPCに接続されているカメラがない場合は、カメラの接続と設定を行ってください。
カメラ内蔵のPCを使っている場合は、動態監視の設定を行います。



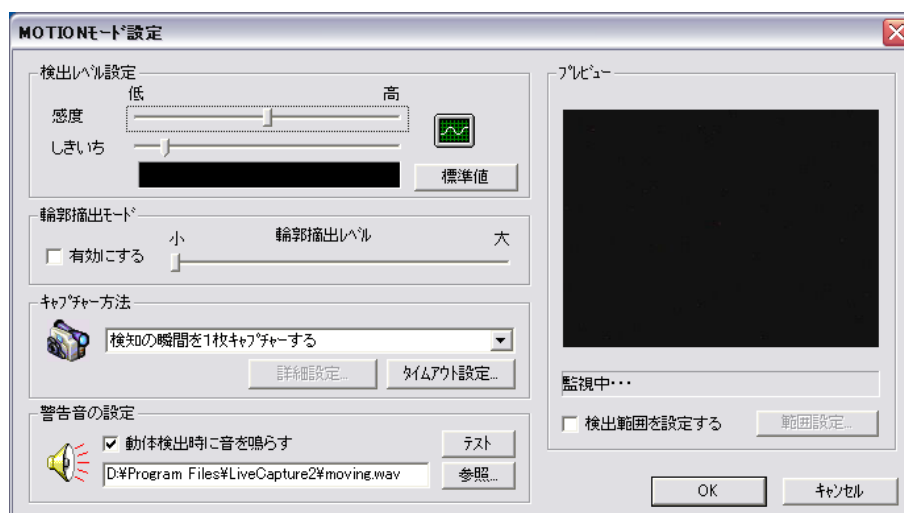
4. 初めてLiveCapture2を起動させた場合、上記のような画面が出てきますので、このPCに接続されたカメラを選択してください。
5. ソフトが起動しますので下記の画面にある「キャプチャー設定」をクリックします。



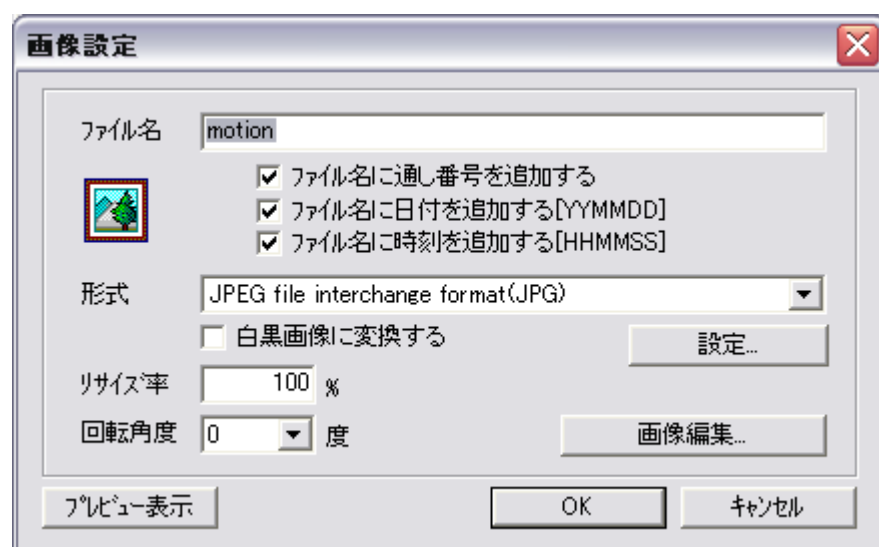
6. 【Motionモード】タブをクリックして下画面のように2つのチェックボックスにチェックを入れます。
7. 次に「動態検知設定」「保存先設定」「画像設定」を行います。



8. 検出レベル設定で動態の検知をどのくらいの感度で行うか設定します。少し試験をしてみて感度としきい치를決めて下さい。
9. 動態検知した場合に複数の連続した写真を残したい場合はキャプチャー方法の部分を変更します。



10. 保存先には「パソわんこ」が監視を行うフォルダ名を指定します。
下の画面ではDドライブにインストールされている場合の設定方法になっております。
11. 画像設定は下記画面のような感じで良いと思います。
日付と時間がファイル名として記録されてます。



12. ここまでの設定が行えたら、LiveCapture2 を実行してみてください。
画面の中にある青い▲ボタンを押すと動態監視を開始します。

画面に自分が映っているのを確認して、少し動いてみてください。
動態検知すると「ピロリン」と音が鳴って画像を保存します。

この状態で「パソわんこ」も実行するとフル機能で「パソわんこ」を使用することが可能です。

上手く検知できない場合は、「動態検知設定」の感度としきい치를調整してみてください。

5. ウイルス対策製品への設定

- 「パソわんこ」は独自のメール送信機能により、設定された送信先にメール送信する事ができます。
- この場合、「パソわんこ」が導入（インストール）されたパソコンにパーソナルファイヤーウォール機能を備えたウイルス対策製品が導入（インストール）されている場合、パーソナルファイヤーウォールの機能によりメール送信が出来ない場合があります。
- パーソナルファイヤーウォールへ下記のような、通信許可の設定を行ってください。
設定はそれぞれの操作説明書に従い作業してください。

許可プログラム名: SensorDog.exe

許可ポート: 25

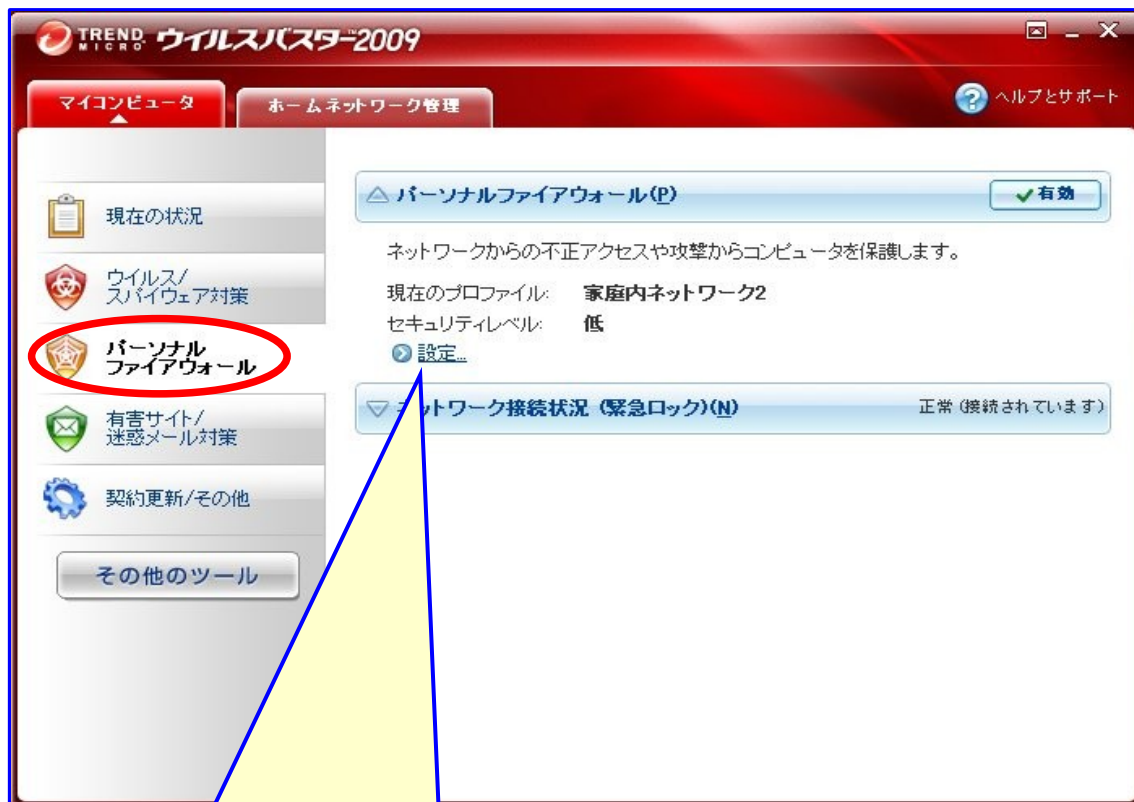
許可プロトコル: TCPプロトコル

※重要

パーソナルファイヤーウォールの設定を誤った場合、パソコンでインターネットができない、メールを送受信しないなどの問題が起こる場合があります。
十分注意して設定を行ってください。

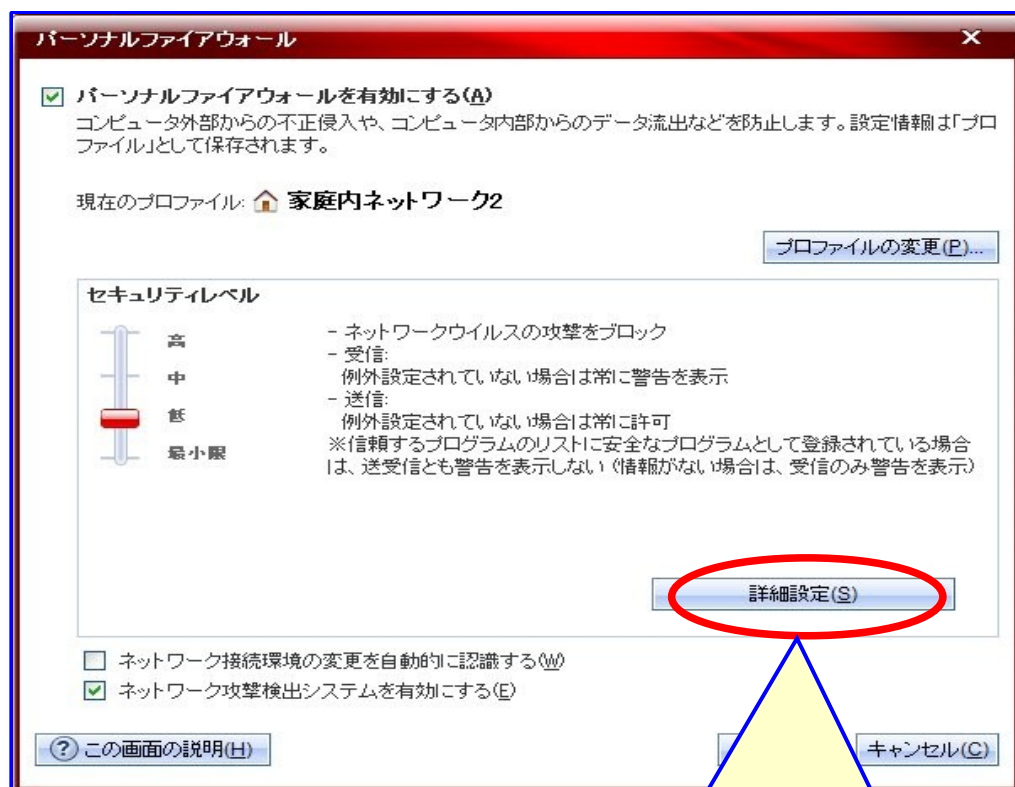
5. ウイルス対策製品への設定

ウイルスバスター2009での設定方法について



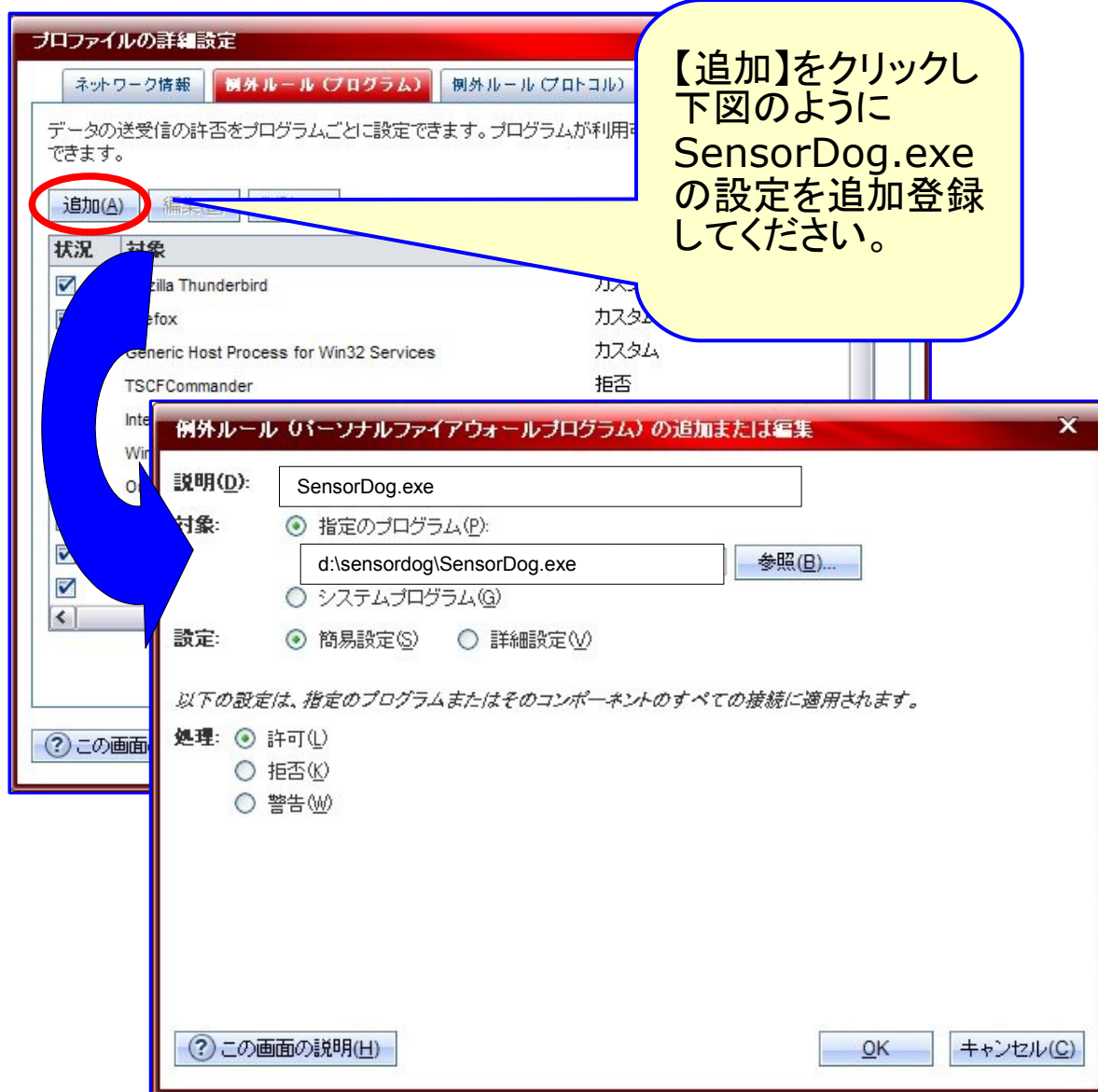
ウイルスバスター2009のメイン画面を起動し
【パーソナル ファイアウォール】をクリックします。
【設定】ボタンを押してください。

5. ウイルス対策製品への設定

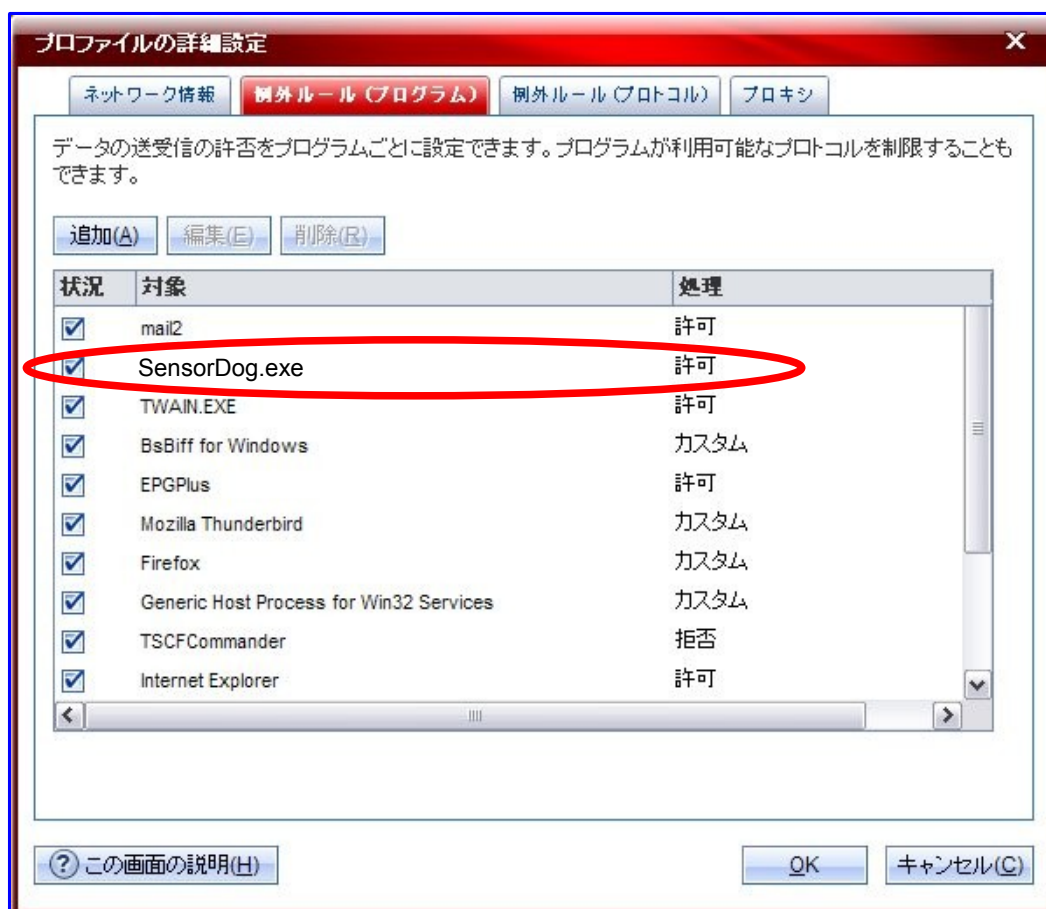


プロファイルの確認を行い【詳細設定】ボタンを押します。

5. ウイルス対策製品への設定



5. ウイルス対策製品への設定



プログラムの例外ルール追加が完了したら【OK】ボタンを押して作業を終了してください。

はじめに

パスワード

連携ソフト

その他

目次

パソわんこ

連携ソフト

その他

パソわんこ 取扱説明書

初版 2010年6月1日

[発行・制作] エーワイ・システム

〒703-8294

岡山県岡山市中区新京橋3丁目15-9

TEL: 086-266-5861

<http://www.ay-system.jp>

E-mail: aysystem@ms11.megaegg.ne.jp

？ 延長の太二家の人無

ハハ！ 難支の飛胡

「このハハ！」

書月映結飛胡

